

- PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通じ、12カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。

アイディ S、アイディ L、アイディ エバック、リグ

ユーザー情報

氏名

住所

ユーザーID

PPE情報

製品名

個別番号

製造年

購入日

初回使用日

製造者: Petzl, ZI Cidex 105A - 38920 Croles - France



異常なし (G)



注意が必要 (TM)



修理が必要 (TR)



使用不可、廃棄 (R)

N/A

1. 製品履歴の把握

使用状況、使用中に生じた特殊な状況 (例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等):



N/A

2. 予備的観察

- 個別番号と CE マークが付いていること及び判読できることを確認してください。
- 耐用年数が過ぎていないことを確認してください。
- 新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないこと及びパーツが欠損していないことを確認してください。

3. 可動サイドプレートの点検

- 可動サイドプレートの状態 (傷、変形、汚れ、ひび、摩耗など) を確認してください。
- セーフティキャッチとスプリングの状態を確認してください。
- 可動サイドプレートが適切に開閉することを確認してください。可動サイドプレートに変形やゆるみがないことを確認してください: カムの軸の頭がサイドプレートの内側に入ってしまう場合は、その製品の使用を中止してください。
- アタッチメントホールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。
- リベットの状態 (傷、変形、ひび、腐食、遊びの不足等) を確認してください。

4. カムの点検

- カムおよびその軸の状態 (傷、変形、汚れ、摩耗、ひび、腐食など) を確認してください。摩耗インジケーター (2019年より前のモデルのみ) カムの溝がインジケータの箇所まで減った場合は、その製品の使用を中止してください。
- カムの回転の確認
- 2019年より前のアイディおよび2018年より前のリグは、カムのスプリングの戻りを確認してください。
- フリクションプレートの状態 (傷、変形、汚れ、ひびなど) を確認してください。
- アタッチメントホールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。
- アイディは、誤操作防止用キャッチの状態 (傷、変形、ひび、腐食等) を確認してください。歯が欠けていないことを確認し、その磨耗具合を点検してください。歯に汚れが付いていない状態にしてください必要に応じて、ブラシで清掃してください。
- 誤操作防止用キャッチの動き、およびスプリングの戻りを確認してください。
- リベットの状態 (傷、変形、ひび、腐食、遊びの不足等) を確認してください。

5. ハンドルの状態の確認

- ハンドルの状態 (傷、変形、ひびなど) を確認してください。
- 2019年より前のアイディおよび2018年より前のリグは、各ハンドルポジションに動かせることおよびその位置に留まることを確認してください。
- 2019年より前のアイディは、緩傾斜用ボタンが適切に機能することを確認してください。
- ハンドルのスプリングの戻りを確認してください。

6. 機能確認

- 適応する複数の径のロープで機能確認をおこなってください。
- 地上レベルで吊り下がってください。器具がロープをロックしなくればなりません。
- ハンドルを操作して短い距離下降します。

コメント (確認された不具合や取られた処置について詳しく記入してください)

評価

使用を継続することができる

使用を継続することができない

点検者

団体名

日付

次回点検日